

# 日本植物分類学会第 21 回大会 案内

2022 年 3 月 4 日 (金) ~ 6 日 (日)

Zoom・LINC Biz によるオンライン開催



**【参加申し込み】** 今大会はオンライン開催のため、当日参加のお申し込みはできません。  
事前に学会ホームページからお申し込みください。

\*申込締切

学会大会（総会のみ参加の場合も含む） 2月28日（日） 17:00

公開シンポジウム（3月6日午後開催） 3月5日（土） 正午

※ 公開シンポジウムは大会とは別に申込が必要です（定員 500 名 申込先着順）。

## 【日程概要】

3月4日（金）

10:00 - 10:05 大会会長挨拶

10:15 - 11:45 口頭発表 (口頭発表賞対象)

13:00 - 14:45 ポスター発表コアタイム (ポスター発表賞対象)

15:00 - 18:15 口頭発表 (口頭発表賞対象)

18:30 - 21:00 ミキサー兼ポスター交流会 (入退室自由)

3月5日（土）

8:30 - 11:00 口頭発表 (口頭発表賞対象)

11:15 - 12:00 ポスター発表コアタイム (一般)

13:00 - 13:45 ポスター発表コアタイム (一般)

14:00 - 15:30 総会・学会賞授与式

15:40 - 18:15 受賞記念講演 (植物分類学会賞、学会奨励賞)

19:00 - 21:00 懇親会・大会発表賞授与式 (19:30 頃予定)

3月6日（日）

8:30-11:45 口頭発表 (一般)

12:45-13:45 口頭発表 (一般)

14:00-16:45 公開シンポジウム

**【発表・参加形態】** 口頭発表 (Zoom)・ポスター発表 (LINC Biz)

- \* 発表者・参加者の方とも、インターネットに接続できるパソコン等の環境が必要です。
- \* Zoom ならびに LINC Biz による大会参加方法詳細の資料を、2月22日頃に大会ホームページへアップロードする予定です。大会参加前にご一読ください。

**【発表要領 (概要版)】** (詳細は大会ホームページの「発表要領」をご参照ください)

◆ **口頭発表 (Zoom)**

プログラム上の発表時間は、講演 12 分、質疑応答 3 分の計 15 分です。ただし、次の発表者への交代をスムーズにするために、14 分 30 秒で 3 鈴を鳴らします。3 鈴が鳴りましたら、次の方への交代をお願いいたします。

パワーポイントのスライド作成にあたっては、色覚バリアフリープレゼンテーション法に関するサイト <http://cudo.jp/cbf/> を是非ご一読ください。

◆ **ポスター発表 (LINC Biz + Zoom)**

ポスターファイルのアップロードは、LINC Biz のサイトへ招待後 (2月24日頃を予定) から発表前日 3月3日の夜 24 時までをお願いいたします。

ポスター発表のコアタイムは、発表者と参加者が Zoom の同じブレイクアウトルームへ入室し、発表者がポスターファイルを画面共有した上で行います。発表コアタイムと Zoom のブレイクアウトルームは、発表ごとに定められていますので、ご確認ください。

コアタイム以外にも、LINC Biz では大会開始前からポスターのアップロード・閲覧ができ、大会期間中はいつでもチャットで質疑応答が可能です。また、演者が小規模なビデオルームを開くことで対面のポスター発表のような雰囲気での交流も可能です (同時開室数上限あり)。

**【ミキサー 兼 ポスター交流会】** 3月4日 (金) 18:30 - 21:00 (Zoom)

口頭発表終了後、発表会場と同じ Zoom ミーティングをミキサー 兼 ポスター交流会の会場として開放します。ブレイクアウトルームを作成しておきますので、自由な交流の場としてご利用ください。

**【懇親会】** 3月5日 (土) 19:00 - 21:00 (Zoom)

**【休憩室】** 発表会場とは別の Zoom ミーティングで設置します。ブレイクアウトルームを作成しておきますので、交流の場としてご利用ください (4、5日 9:00~19:00、6日 9:00~13:00)。

**【問い合わせ先】**

〒238-0016 神奈川県横須賀市深田台 95 横須賀市自然・人文博物館内  
日本植物分類学会第 21 回大会実行委員会 (担当: 山本)  
TEL. 0468-24-3688 (博物館代表) FAX. 046-824-3658  
E-mail: [jsp2022@gmail.com](mailto:jsp2022@gmail.com) ←← E-mail でのお問い合わせがスムーズです。

# 日本植物分類学会第 21 回大会 (オンライン)

## 口頭発表時間割詳細 (2022.3.1 版)

(\*発表者、★発表賞エントリー、▼求職中)

3月4日 (金)

10:00-10:05 大会会長挨拶

10:05-10:15 オンライン大会の参加方法説明

【座長 永益 英敏 10:15-11:45】

10:15-10:30 O-01★ 京都府北部に産するアサツキの新変種—形態・MIG-seq データから見た独自性  
伊藤巖\*▼<sup>1</sup>・赤松富子<sup>2</sup>・高山浩司<sup>1</sup>・布施静香<sup>1</sup>・田村実<sup>1</sup> (1:京都大・院・理・植物, 2:  
京都府)

10:30-10:45 O-02★ 全国全種サンプリングと MIG-seq による日本の野生植物の分類学的再検討  
トダシバ属を例に 佐藤広行\*▼<sup>1</sup>・布施健吾<sup>1</sup>・田金秀一郎<sup>2</sup>・廣田峻<sup>3</sup>・藤井伸二<sup>4</sup>・陶山佳  
久<sup>3</sup>・矢原徹一<sup>1</sup> (1:九州オープンユニバーシティ, 2:鹿児島大・博物館, 3:東北大・農,  
4:人間環境大学)

10:45-11:00 O-03★ Taxonomic re-examination of Japanese endemic species, *Lemna  
aoukikusa* Yuri Lee\*▼<sup>1</sup>・加藤将<sup>2</sup>・Jae Young Kim<sup>3</sup>・下野嘉子<sup>4</sup>・志賀隆<sup>1,2</sup> (1:Graduate  
School of Science and Technology, Niigata University, 2:Faculty of Education, Niigata  
University, Niigata, Japan, 3:Division of Horticulture and Medicinal Plant, Andong National  
University, Andong, Korea, 4:Graduate School of Agriculture, Kyoto University, Kyoto,  
Japan)

11:00-11:15 O-04★ タマツリスゲ類 (*Carex filipes complex*) の種と雑種 高橋晃太郎\*<sup>1</sup>・織田二郎<sup>2</sup>  
・布施静香<sup>1</sup>・黒木秀一<sup>3</sup>・大森威宏<sup>4</sup>・矢野興一<sup>5</sup>・Yi-Fei Lu<sup>6</sup>・Jin Xiao-Feng<sup>6</sup>・田村実<sup>1</sup>  
(1:京都大・院・理・植物, 2:奈良県香芝市, 3:宮崎県総合博物館, 4:群馬県立自然史博物  
館, 5:岡山理大・生物地球, 6:Hangzhou Normal Univ.)

11:15-11:30 O-05★ ラオス南部の Bolaven 台地におけるキツネノマゴ科の分類学的研究 山崎海都\*<sup>1</sup>  
・Phetlasy Souladeth<sup>2</sup>・田金秀一郎<sup>3</sup> (1:鹿大・院・理, 2:National University of Laos, 3:  
鹿大・博物館)

11:30-11:45 O-06★ 日本産ヤマハハコ属 (キク科) の分類学的再検討 片岡利文\*▼<sup>1</sup>・米岡克啓<sup>1</sup>・藤  
原泰央<sup>1</sup>・加藤英寿<sup>1</sup>・廣田峻<sup>2</sup>・陶山佳久<sup>2</sup>・矢原徹一<sup>3</sup>・村上哲明<sup>1</sup> (1:都立大・牧野,  
2:東北大・農, 3:九州オープンユニバーシティ)

11:45-12:00 ポスター会場の参加者向け説明

12:00-13:00 -----昼食-----

13:00-13:45 ポスター発表コアタイム P-1 ~ P-10 (発表賞応募者)

13:45-14:00 -----休憩-----

14:00-14:45 ポスター発表コアタイム P-11 ~ P-20 (発表賞応募者)

14:45-15:00 -----休憩-----

【座長 村上 哲明 15:00-16:30】

15:00-15:15 O-07★ 分子系統解析に基づく日本産イバラモ属の分類学的再検討 軒原開\*<sup>1</sup>・藤井伸二<sup>2</sup>・伊東拓朗<sup>3</sup>・松尾歩<sup>4</sup>・陶山佳久<sup>4</sup>・福岡豪<sup>5</sup>・角野康郎<sup>6</sup>・牧雅之<sup>3</sup> (1:東北大・院・生命, 2:人間環境大・人間環境, 3:東北大・植物園, 4:東北大・農, 5:愛媛植物研究会, 6:神戸大・院・理)

15:15-15:30 O-08★ HRM 解析を用いた三倍体無配生殖型ヤブソテツの遺伝的分離の検証 大槻涼\*<sup>▼</sup> (駒澤大学総合教育)

15:30-15:45 O-09★ モトマチハナワラビを含む日本産オオハナワラビ属の系統解析～6倍体3サブゲノムの解体～ 石井壮佑\*<sup>1</sup>・佐橋紀男<sup>2</sup>・綿野泰行<sup>1</sup> (1:千葉大・院・理, 2:元東邦大・薬)

15:45-16:00 O-10★ ジャノヒゲ属(クサスギカズラ科)の系統と分布変遷 新宅和憲\*<sup>1</sup>・布施静香<sup>1</sup>・田金秀一郎<sup>2</sup>・矢原徹一<sup>3</sup>・Poopath Manop<sup>4</sup>・Sirimongkol Sukontip<sup>4</sup>・Yooprasert Sawita<sup>4</sup>・Pooma Rachun<sup>4</sup>・Yang Yong-Ping<sup>5</sup>・Pu Fading<sup>6</sup>・田村実<sup>1</sup> (1:京都大・院・理・植物, 2:鹿児島大・博物館, 3:九州オープンユニバーシティ, 4:タイ・BKF, 5:中国科学院・昆明植研, 6:中国科学院・成都生研)

16:00-16:15 O-11★ 多様な表現型を示すダイヤモンドの系統進化史 孫田佳奈\*<sup>1</sup>・阪口翔太<sup>1</sup>・Jung-Sim Lee<sup>2</sup>・山本将也<sup>3</sup>・高橋大樹<sup>4</sup>・永野惇<sup>5,6</sup>・瀬戸口浩彰<sup>1</sup> (1:京都大・人環, 2:韓国国立樹木園, 3:兵庫教育大, 4:東北大・農, 5:龍谷大・農, 6:慶應大・IAB)

16:15-16:30 O-12★ 倍数性複合体シロヨメナ群の成立過程の解明②～倍数体を含む遺伝構造の解析～ 高添清登\*<sup>1</sup>・伊藤元己<sup>2</sup>・松尾歩<sup>3</sup>・朴宰弘<sup>4</sup>・陶山佳久<sup>3</sup>・王思琪<sup>5</sup>・副島顕子<sup>6</sup> (1:熊本大・院・自然科学, 2:東京大・院・総合文化, 3:東北大・院・農, 4:慶北大・自然科学, 5:東北林業大, 6:熊本大・院・先端科学)

16:30-16:45 -----休憩-----

【座長 綿野 泰行 16:45-18:15】

16:45-17:00 O-13★ 日本産スイレン亜属の系統地理学的解析 内藤芳香\*<sup>1</sup>・岩崎貴也<sup>2</sup>・加藤将<sup>3</sup>・首藤光太郎<sup>4</sup>・陶山佳久<sup>5</sup>・廣田峻<sup>5</sup>・志賀隆<sup>3</sup> (1:新潟大・院・自, 2:お茶の水女子大・基幹院, 3:新潟大・教育, 4:北海道大・総合博物館, 5:東北大・院・農)

17:00-17:15 O-14★ フシノハアワブキ(広義)の隔離分布形成過程の検証 村上将希\*<sup>1</sup>・伊東拓朗<sup>2</sup>・浅川彬<sup>3</sup>・山田孝幸<sup>4</sup>・田金秀一郎<sup>5</sup>・藤井伸二<sup>6</sup>・松尾歩<sup>7</sup>・陶山佳久<sup>7</sup>・牧雅之<sup>2</sup> (1:東北大・院・生命, 2:東北大・植物園, 3:環境省, 4:株 東洋設計, 5:鹿児島大・博物館, 6:人間環境大・人間環境, 7:東北大・農)

- 17:15-17:30 O-15★ ヤマハハコ (広義) における地理的分化・生態的分化に関する分子系統学的解析  
保尊大志\*<sup>1</sup>・伊東拓朗<sup>2</sup>・藤井伸二<sup>3</sup>・高橋大樹<sup>4</sup>・松尾歩<sup>4</sup>・陶山佳久<sup>4</sup>・牧雅之<sup>2</sup> (1:東北大・院・生命, 2:東北大・植物園, 3:人間環境大・人間環境, 4:東北大・農)
- 17:30-17:45 O-16★ 日本における塩生植物フクドの系統地理学的研究 江田悠河\*<sup>1</sup>・阪口翔太<sup>1</sup>・陶山佳久<sup>2</sup>・廣田峻<sup>2</sup>・Hyeok Jae Choi<sup>3</sup>・李攀<sup>4</sup>・Qingxiang Han<sup>5</sup>・山下純<sup>6</sup>・黒田有寿茂<sup>7</sup>・瀬戸口浩彰<sup>1</sup> (1:京大・院・人環, 2:東北大・農, 3:昌原大, 4:浙江大, 5:枣庄学院, 6:岡山大・植物研, 7:兵庫県大・自然研)
- 17:45-18:00 O-17★ ナンゴクハウビシダ (チャセンシダ科) は独立配偶体を形成できる 米岡克啓\*<sup>1</sup>・片岡利文<sup>1</sup>・堀清鷹<sup>2</sup>・藤原泰央<sup>1</sup>・村上哲明<sup>1</sup> (1:都立大・院・牧野, 2:高知・牧野植物園)
- 18:00-18:15 O-18★ 3つの性別を持つ緑藻 *Pleodorina starrii* の発見と本種における性決定の分子遺伝学的基盤 高橋昂平\*<sup>▼1</sup>・豊岡博子<sup>2</sup>・山本荷葉子<sup>3</sup>・浜地貴志<sup>4</sup>・大槻涼<sup>5</sup>・鈴木重勝<sup>6</sup>・山口晴代<sup>6</sup>・河地正伸<sup>6</sup>・東山哲也<sup>1,7,8</sup>・野崎久義<sup>1,6</sup> (1:東大・院・理, 2:法政大・生命科学, 3日本女子大・理, 4:中央大・研究開発機構, 5:駒澤大・総合教育, 6:国環研・生物多様性, 7:名大・院・理, 8名大・ITbM)
- 18:30-21:00 ミキサー兼ポスター交流会 (入退室自由)

3月5日 (土)

【座長 瀬戸口 浩彰 8:30-10:00】

- 8:30- 8:45 O-19★ 異なる植物区系由来の宿主に対する外生菌根菌の感染可能性の評価 杉山賢子\*・佐藤博俊 (京大 院 人環)
- 8:45- 9:00 O-20★ タコノキ科アダンの甲虫媒-花序で繁殖する送粉者ケシキスイと花序の発熱 宮本通\*・望月昂・川北篤 (東大・院・植物園)
- 9:00- 9:15 O-21★ 海洋島におけるハマウツボ属寄生植物の送粉者シフト 西村明洋\*・高山浩司 (京大・院・理)
- 9:15- 9:30 O-22★ 花香と訪花生物から探るミカワマツムシソウの種分化 渡辺蒔\*<sup>1</sup>・立松和晃<sup>2</sup>・須山知香<sup>3</sup>・岡本朋子<sup>4</sup> (1:岐阜大・教育・学校教育・理科教育, 2:岐阜大・院・自然科学, 3:岐阜大・教育・理科教育, 4:岐阜大・応生)
- 9:30- 9:45 O-23★ 日本産イワベンケイ属のフェノール化合物とその変異 平野日向\*<sup>1</sup>・伊東拓朗<sup>2</sup>・村井良徳<sup>3</sup> (1:茨大・院・農, 2:東北大・植物園, 3:科博・植物)
- 9:45-10:00 O-24★ 根の形成位置から考える小葉類の根と根形成器官の進化 伊藤雄氣\*<sup>1</sup>・藤浪理恵子<sup>2</sup>・山田敏弘<sup>1</sup> (1:大阪市大・植物園, 2:京都教育大・教育)

10:00-10:15 -----休憩-----

【座長 鈴木 武 10:15-11:00】

- 10:15-10:30 O-25★ アヅミイノデを含む 4 倍体イノデ亜属種の祖先二倍体種の探索 杉田晴哉\*<sup>1</sup>・

海老原淳<sup>2</sup>・芹沢俊介<sup>3</sup>・綿野泰行<sup>1</sup> (1:千葉大・院・理, 2:科博・植物, 3:愛知みどりの会)

10:30-10:45 O-26★ **ゼンテイカの分布末端集団における保全遺伝学的研究** 増田和俊\*<sup>1</sup>・瀬戸口浩彰<sup>1</sup>・長澤耕樹<sup>1</sup>・沢和浩<sup>2</sup>・丹後亜興<sup>3</sup>・坪井勇人<sup>4</sup>・福本繁<sup>5</sup>・堀江健二<sup>6</sup>・平塚健一<sup>7</sup>・石原正恵<sup>8</sup>・阪口翔太<sup>1</sup> (1:京大院・人環, 2:天童市, 3:隠岐郡海士町, 4:白馬五竜高山植物園, 5:ABCプロジェクト, 6:旭川市北邦野草園, 7:京都府立植物園, 8:京大・フィールド研)

10:45-11:00 O-27★ **絶滅危惧植物カンランの域外保全に向けた遺伝解析** 西原美佳\*<sup>1</sup>・阪口翔太<sup>1</sup>・長澤淳一<sup>2</sup>・市河三英<sup>3</sup>・廣田峻<sup>4</sup>・陶山佳久<sup>4</sup>・遊川知久<sup>5</sup>・平塚健一<sup>6</sup>・山下幸司<sup>6</sup>・橋本季正<sup>7</sup>・矢部幸太<sup>7</sup>・瀬戸口浩彰<sup>1</sup> (1:京大・院・人環, 2:京府大・新自然史セ, 3:東京山草会, 4:東北大・院・農, 5:科博・植物園, 6:京都府立植物園, 7:高知県立牧野植物園)

11:00-11:15 -----休憩-----

11:15-12:00 ポスター発表コアタイム P-21 ~ P-33 (一般)

12:00-13:00 -----昼食-----

13:00-13:45 ポスター発表コアタイム P-34 ~ P-47 (一般)

13:45-14:00 -----休憩-----

14:00-15:00 総会

15:00-15:30 学会賞授与式・論文賞授与式

15:30-15:40 -----休憩-----

15:40-18:15 受賞講演

15:40-16:20 学会賞：角野康郎 「日本産水生植物の分類地理－研究はどこまで進んだか」

16:20-17:00 学会賞：織田二郎 「スゲに魅せられて」

17:00-17:15 -----休憩-----

17:15-17:45 学会奨励賞：新田ジョエル 「シダ植物の群集形成および系統分類学的研究」

17:45-18:15 学会奨励賞：柿嶋 聡 「多面的アプローチによる植物の多様化と生活史進化に関する研究」

18:15-19:00 -----休憩-----

19:00-21:00 懇親会・大会発表賞 授与式 (19:30 頃予定)

3月6日(日)

【座長 田村 実 8:30-10:00】

8:30- 8:45 O-28 **地衣類ハコネサルオガセおよび関連分類群の全ゲノムデータによる分子系統解析** 大村嘉人\*<sup>1</sup>・寺井洋平<sup>2</sup>・荒川那海<sup>2</sup>・河野美恵子<sup>2</sup>・近芳明<sup>3</sup> (1:国立科博, 2:総研大, 3:都立一橋高校)

8:45- 9:00 O-29 **雪氷微生物 *Chionaster nivalis* の分子系統解析** 松崎令\*<sup>▼1,2</sup>・高島勇介<sup>1,3</sup>・鈴木石根<sup>1</sup>・河地正伸<sup>2</sup>・野崎久義<sup>2,4</sup>・野原精一<sup>2</sup>・出川洋介<sup>1,3</sup> (1:筑波大・生命環境, 2:国立環境研・生物多様性, 3:筑波大・山岳科学・菅平実験所, 4:東京大・理)

9:00- 9:15 O-30 **タテヤマイワブキ (ユキノシタ科) の染色体数と系統的位置の推定** 福田知子\*<sup>1</sup>・

足立敏文<sup>2</sup>・中村剛<sup>3</sup> (1:三重大学教養教育院, 2:長野県松本市, 3:北大・植物園・環境科学)

- 9:15- 9:30 O-31 新種発見が紐解く小笠原諸島に分布するマンネングサ属種群の進化史 伊東拓朗\*<sup>1</sup>  
・馬場隆士<sup>2</sup>・柿嶋聡<sup>3</sup>・横田昌嗣<sup>4</sup>・牧雅之<sup>1</sup>・國府方吾郎<sup>5</sup> (1:東北大・植物園, 2:農研  
機構・果樹茶部門, 3:科博・分子セ, 4:琉球大・理, 5:科博・植物)
- 9:30- 9:45 O-32 葉緑体全ゲノム解析による日本産アザミ属植物の系統と起源 伊藤元己\*<sup>▼1</sup>・倉田  
正観<sup>1</sup>・石川直子<sup>2</sup>・副島顕子<sup>3</sup>・上原浩一<sup>4</sup> (1:東大・院・総合文化, 2:大阪市大・植物  
園, 3:熊本大・院・先端科学, 4:千葉大・国際教養)
- 9:45-10:00 O-33 標本ゲノミクスで明らかになった広義アキノキリンソウのユーラシア拡散史 阪  
口翔太\*<sup>1</sup>・Alexey P SEREGIN<sup>2</sup>・Elena MARCHUK<sup>3</sup>・John SEMPLE<sup>4</sup>・Li PAN<sup>5</sup>・Yinqiong  
QIU<sup>5</sup>・瀬戸口浩彰<sup>1</sup>・牧雅之<sup>6</sup>・陶山佳久<sup>6</sup>・廣田峻<sup>6</sup>・石川直子<sup>7</sup>・Olga CHERNYAGINA<sup>3</sup>・  
Hyeokjae CHOI<sup>8</sup>・中臺亮介<sup>9</sup>・重信秀治<sup>10</sup>・山口勝司<sup>10</sup>・伊藤元己<sup>11</sup> (1:京都大学, 2:Moscow  
State Univ., 3:FEB RAS, 4:Univ. Waterloo, 5:Zhejiang Univ., 6:東北大, 7:大阪市立大学,  
8:Changwon National Univ., 9:国立環境研究所, 10:基礎生物学研究所, 11:東京大学)
- 10:00-10:15 -----休憩-----
- 【座長 高山 浩司 10:15-11:45】
- 10:15-10:30 O-34 溪流沿い植物アオヤギバナの収斂進化に関するトランスクリプトーム比較解析  
喜屋武隆太\*<sup>1</sup>・伊東拓朗<sup>2</sup>・藤井伸二<sup>3</sup>・山城考<sup>4</sup>・阪口翔太<sup>5</sup>・伊藤元己<sup>6</sup>・牧雅之<sup>7</sup> (1:  
東北大・生命, 2:東北大, 3:人間環境大学, 4:徳島大学, 5:京大, 6:東大, 7:東北大・植物  
園)
- 10:30-10:45 O-35 ゲノムスキミング法によるアゼトウナ属 (キク科) の系統解析 倉田正観\*<sup>▼1</sup>・石  
川直子<sup>2</sup>・牛久由夏<sup>1</sup>・伊藤元己<sup>1</sup> (1:東京大・院・総合文化, 2:大阪市大・植物園)
- 10:45-11:00 O-36 北太平洋地域におけるイワギキョウ *Campanula lasiocarpa* の分布拡大経路の推  
定 池田啓\*<sup>1</sup>・Polina Volkova<sup>2</sup>・Kendrick L. Marr<sup>3</sup>・Christian Brochmann<sup>4</sup> (1:岡山大・  
植物研, 2:Russian Institute of Radiology and Agroecology, 3:Royal BC Museum, 4:  
University of Oslo)
- 11:00-11:15 O-37 日本海側多雪地に固有な遺存種の生存史 渡辺洋一\*<sup>1</sup>・小出ひなた<sup>2</sup>・郷園桃花<sup>2</sup>・  
石田穂高<sup>2</sup>・長澤耕樹<sup>3</sup>・増田和俊<sup>3</sup>・伊藤元己<sup>4</sup>・阪口翔太<sup>3</sup> (1:千葉大・院・園芸, 2:  
千葉大・園芸, 3:京都大・院・人間環境, 4:東京大・院・総合文化)
- 11:15-11:30 O-38 ミヤコグサ *GF14* 遺伝子の開花時期への寄与と進化 若林智美\*<sup>1</sup>・Cathrine K.  
Skovbjerg<sup>2</sup>・壽崎拓哉<sup>3</sup>・西田帆那<sup>3</sup>・池田啓<sup>4</sup>・瀬戸口浩彰<sup>5</sup>・川口正代司<sup>6</sup>・Stig U. Andersen<sup>2</sup>・  
佐藤修正<sup>7</sup> (1:奈良先端大, 2:Aarhus Univ, 3:筑波大, 4:岡山大, 5:京大, 6:基生研, 7:  
東北大)
- 11:30-11:45 O-39 日本列島におけるスゲ属 2 節の種多様性形成要因の解明 長澤耕樹\*<sup>1</sup>・瀬戸口浩  
彰<sup>1</sup>・牧雅之<sup>2</sup>・沢和浩<sup>3</sup>・堀江健二<sup>4</sup>・永野惇<sup>5,6</sup>・陶山佳久<sup>7</sup>・松尾歩<sup>7</sup>・綱本良啓<sup>8</sup>・阪口  
翔太<sup>1</sup> (1:京大院・人環, 2:東北大・植物園, 3:天童市, 4:旭川市北邦野草園, 5:龍谷大,

6:慶應義塾大, 7:東北大・農, 8:道総研)

11:45-12:45 -----昼食-----

【座長 牧 雅之 12:45-13:45】

12:45-13:00 O-40 屋久島矮小植物の起源と成立要因の解明—ヤクシカによる採食圧と矮小化の関係—  
高橋大樹\*<sup>▼1</sup>・陶山佳久<sup>1</sup>・瀬戸口浩彰<sup>2</sup>・阪口翔太<sup>2</sup> (1: 東北大学農学研究科, 2: 京都  
大学人間・環境学研究科)

13:00-13:15 O-41 ラオス南部の Bolaven 台地における植物多様性について 田金秀一郎\*<sup>▼1</sup>・  
Phetlasy Souladeth<sup>2</sup> (1:鹿大・博物館, 2:National University of Laos)

13:15-13:30 O-42 人吉城歴史館で被災した前原勘次郎標本の学術的価値と活用の展望 海老原淳\*<sup>1</sup>・  
佐久間大輔<sup>2</sup>・田尻雅之<sup>3</sup>・金重雅彦<sup>3</sup>・前田哲弥<sup>3</sup>・安田晶子<sup>3</sup>・副島顕子<sup>4</sup>・黒沢高秀<sup>5</sup>・  
池谷祐幸<sup>6</sup>・早川宗志<sup>7</sup> (1:国立科学博物館植物研究部, 2:大阪市立自然史博物館, 3:熊本  
県博物館ネットワークセンター, 4:熊本大学大学院先端科学研究部, 5:福島大学共生システ  
ム理工学類, 6:岡山理科大学生物地球学部生物地球学科, 7:ふじのくに地球環境史ミュージ  
アム)

13:30-13:45 O-43 AI 画像認識技術を使って約 2,100 種の植物の名前を高精度(96%)に判定するシス  
テムの開発 秋廣高志\*<sup>1</sup>・白井匡人<sup>2</sup>・高野温子<sup>3</sup>・黒沢高秀<sup>4</sup>・井上雅仁<sup>5</sup>・田金秀一郎<sup>6</sup>・  
谷本朋也<sup>1</sup>・小金山透<sup>7</sup>・佐藤平行<sup>7</sup>・寺澤知彦<sup>7</sup>・堀江岳人<sup>7</sup>・萬代功<sup>8</sup> (1:島根大学・生  
資, 2:島根大学・総理, 3:兵庫県博, 4:福島大・共シ, 5:三瓶自然館, 6:鹿大・博物館, 7:  
アルファ水工, 8:T.R.Workers)

13:45-13:50 閉会挨拶

13:50-14:00 -----休憩-----

14:00-16:45 公開シンポジウム「地中のきのこ×菌根」

14:00-14:05 開会挨拶・趣旨説明

14:05-14:20 地下生菌の系統と多様性、国内での研究動向 折原貴道 (神奈川県立生命の星・地球博  
物館)

14:20-15:00 アツギケカビ目菌類の多彩な共生関係～苔類基部系統から樹木まで～ 山本航平 (栃木  
県立博物館)

15:10-15:50 森林生態系におけるアーバスキュラー菌根共生 大和政秀 (千葉大学教育学部)

15:50-16:30 日本のトリュフの多様性と栽培に向けた研究 木下晃彦 (森林総合研究所)

16:30-16:45 総合討論・質疑応答

## ポスター発表時間割詳細 (2021.3.1 版)

(\*発表者、★発表賞エントリー、▼求職中)

◆ コアタイム 3月4日(金) 13:00 - 13:45 (発表賞応募者)

P-01★ 日本産カラマツソウ属 2 種の染色体研究 大橋礼\*<sup>1</sup>・佐藤杏子<sup>2</sup> (1:富山大学大学院理工学教育部, 2:富山大学学術研究部理学系)

P-02★ 日本産ヒメタヌキモ (タヌキモ科) の分類学的再検討 鈴井朋弘\*<sup>1</sup>・加藤将<sup>2</sup>・志賀隆<sup>2</sup> (1:新潟大学大学院, 2:新潟大学教育学部)

P-03★ 日本産エビゴケ *Bryoxiphium japonicum* (エビゴケ科, 蘚類) の系統的位置 弘松瑤希\*<sup>1</sup>・井上侑哉<sup>2,3</sup>・坪田博美<sup>4</sup> (1:広島大・理・生物科学科, 2:科博・植物, 3:服部研究所, 4:広島大・院・統合生命)

P-04★ 改良型 ddRAD-seq 法を用いた栽培バナナの分子系統解析 田中啓介\*<sup>▼1</sup>・小松かおり<sup>2</sup>・佐藤靖明<sup>3</sup>・Mintah Lemuel Ohemeng<sup>4</sup>・小谷真吾<sup>5</sup>・北西功一<sup>6</sup>・四方篤<sup>7</sup>・足達太郎<sup>8</sup> (1:東京農業大学生物資源ゲノム解析センター, 2:北海学園大学人文学部, 3:大阪産業大学デザイン工学部, 4:Forest and Horticultural Crops Research Centre, University of Ghana, 5:千葉大学文学部, 6:山口大学国際総合科学部, 7:京都大学アフリカ地域研究資料センター, 8:東京農業大学国際食料情報学部)

P-05★ 愛知県におけるカワヂシャとオオカワヂシャの交雑の現状 佐藤朱美\*<sup>1</sup>・芹沢俊介<sup>2</sup>・柿嶋聡<sup>3</sup>・常木静河<sup>1</sup> (1:愛教大生物, 2:愛知みどりの会, 3:科博・分子セ)

P-06★ MIG-seq による日本産スミレ属タチツボスミレ亜節植物の系統関係の推定 Jiaxin YU\*<sup>1</sup>・瀬戸口浩彰<sup>1</sup>・増田和俊<sup>1</sup>・堀江健二<sup>2</sup>・陶山佳久<sup>3</sup>・廣田峻<sup>3</sup>・阪口翔太<sup>1</sup> (1:京大院・人環, 2:旭川市北邦野草園, 3:東北大院・農)

P-07★ 広域分布種ツリガネニンジン類の交雑ゾーンでの遺伝的多様性と形態変異の解析 木村俊一朗\*<sup>1</sup>・岡崎純子<sup>1</sup>・鍋谷陽<sup>1</sup>・長谷川匡弘<sup>2</sup>・鈴木浩司<sup>3</sup>・植松千代美<sup>4</sup> (1:大阪教育大, 2:大阪自然史博, 3:富山県立大学, 4:大阪市立大学・理学研究科)

P-08★ 特定外来生物ボタンウキクサは外来種か? : 古い分布記録および流通記録の再検討 山ノ内崇志\*<sup>▼</sup> (福島大・共生)

P-09★ 上向きのオスと下向きのメス: 雌雄異株植物オニドコロにおける花序角度と送粉効率・種子被食率の関係 工藤葵\*<sup>1</sup>・杉原優<sup>1</sup>・太田敦士<sup>1</sup>・寺内良平<sup>2</sup> (1:京都大, 2:京都大・岩手生工研)

P-10★ マタタビの葉はなぜ白くなるのか? - 呈色機構とその過程について - 長田拓之\*・倉田薫子 (横浜国立大学)

◆ コアタイム 3月4日(金) 14:00 - 14:45 (発表賞応募者)

P-11★ ユキノシタ科ネコノメソウ属の分子系統解析を用いた分類学的再検討 杉山由佳\*<sup>1</sup>・伊東拓朗<sup>2</sup>

・柿嶋聡<sup>3</sup>・軒原開<sup>4</sup>・織田二郎<sup>5</sup>・田金秀一郎<sup>6</sup>・山城考<sup>7</sup>・藤井伸二<sup>8</sup>・牧雅之<sup>2</sup> (1:東北大・理・生物, 2:東北大植物園, 3:国立科学博物館, 4:東北大・院・生命, 5:奈良県香芝市, 6:鹿児島大総合研究博物館, 7:徳島大・院・社会産業理工学, 8:人間環境大・人間環境)

**P-12★ 日本産アオミドロ類 (ストレプト植物門・ホシミドロ藻綱) の形態比較及び分子系統解析** 高野智之\*<sup>1</sup>・野崎久義<sup>2,3</sup>・坂山英俊<sup>1</sup> (1:神戸大・院・理, 2:東大・院・理, 3:国環研・生物多様性)

**P-13★ ゲジゲジシダにおける F1 雑種と両親種の遺伝子発現パターンの比較** 山本拓也\*<sup>1</sup>・片山なつ<sup>2</sup>・藤原泰央<sup>3</sup>・綿野泰行<sup>2</sup> (1:千葉大・理・生物, 2:千葉大・院・理, 3:東京都立大・牧野標本館)

**P-14★ ソクシンラン属植物における共生菌の多様性** 道本佳苗\*<sup>1</sup>・辻田有紀<sup>2</sup>・山本航平<sup>3</sup>・伊東拓朗<sup>1</sup>・藤井伸二<sup>4</sup>・牧雅之<sup>1</sup> (1:東北大学, 2:佐賀大学, 3:栃木県立博物館, 4:人間環境大学)

**P-15★ 満鮮要素オカオグルマの分布変遷史の解明** 坂場友香\*<sup>1</sup>・陶山佳久<sup>2</sup>・松尾歩<sup>2</sup>・池田啓<sup>3</sup>・藤井紀行<sup>4</sup>・藤井伸二<sup>5</sup>・副島顕子<sup>4</sup> (1:熊大・院・自然科学, 2:東北大・農, 3:岡山大・資源植物, 4:熊大・院・先端科学, 5:人間環境大・環境科学)

**P-16★ 日本産フキ (*Petasites japonicus*) の分子系統地理学的研究** 橋本環\*<sup>1</sup>・井上侑哉<sup>2</sup>・坪田博美<sup>3</sup>・山口富美夫<sup>3</sup>・嶋村正樹<sup>3</sup> (1:広島大・院・理, 2:科博・植物, 3:広島大・院・統合生命)

**P-17★ イヌビワとその単食性昆虫イヌビワシギゾウムシの比較系統地理学的解析** 小林尚仁\*<sup>1</sup>・藤井伸二<sup>2</sup>・崔芳テイ<sup>3</sup>・伊東拓朗<sup>3</sup>・牧雅之<sup>3</sup> (1:東北大・院・生命, 2:人間環境大・人間環境, 3:東北大・植物園)

**P-18★ ツククサ科ツククサ連の雄しべの進化** 李忠建\*<sup>▼1</sup>・布施静香<sup>1</sup>・Manop Poopath<sup>2</sup>・Rachun Pooma<sup>2</sup>・Yong-Ping Yang<sup>3</sup>・戸部博<sup>4</sup>・田村実<sup>1</sup> (1:京都大学大学院理学研究科植物学教室, 2:Forest Herbarium・Department of National Parks・Wildlife and Plant Conservation, 3:Key Laboratory for Biodiversity and Biogeography of East Asia・Kunming Institute of Botany・Chinese Academy of Sciences, 4:京都府立植物園)

**P-19★ 沈水植物トリゲモとオオトリゲモの繁殖特性の種間比較** 上村智稀\*・岡崎海・加藤将・志賀隆 (新潟大・教育)

**P-20★ 植物の共起を決める要因：神奈川県全維管束植物を対象とした網羅的解析** 川崎七海\*<sup>1</sup>・中臺亮介<sup>2</sup>・大西亘<sup>3</sup>・西田佐知子<sup>4</sup>・山本薫<sup>5</sup>・岩元明敏<sup>6</sup>・加藤美砂子<sup>1</sup>・岩崎貴也<sup>7</sup> (1:神奈川大・院・理・お茶の水大・IHLL, 2:国立環境研究所, 3:神奈川県博, 4:名古屋大・博物館, 5:横須賀市博, 6:神奈川大・院・理, 7:お茶の水大・理)

◆ コアタイム 3月5日(土) 11:15 - 12:00 (一般)

**P-21 日本産エダウチホングウシダ属の倍数性と孢子サイズの関係** 梶原秀高\*<sup>1</sup>・中藤成実<sup>2</sup>・海老原淳<sup>3</sup> (1:大阪自然史外来研, 2:所属なし, 2:科博・植物)

**P-22 ヤブジラミの海浜型新品種 ハマヤブジラミ** 瀧崎吉伸\* (豊橋市立東部中学校)

- P-23 センボンゴケ科セン類 *Reimersia inconspicua* の新産地と系統的位置 井上侑哉<sup>\*1,2</sup>・Mu Mu Aung<sup>3</sup> (1:国立科学博物館, 2:服部植物研究所, 3:Forest Research Institute, Myanmar)
- P-24 日本におけるカワゴケソウ集団の成立過程の解明 片山なつ<sup>\*▼1</sup>・José Said Gutiérrez-Ortega<sup>2</sup>・綿野泰行<sup>1</sup>・加藤雅啓<sup>3</sup> (1:千葉大・院・理, 2:千葉大・国際未来教育, 3:国立科博・植物)
- P-25 京都御苑固有植物カワセミソウの進化的起源と姉妹種サギゴケの遺伝構造 山本将也<sup>\*▼1</sup>・長澤耕樹<sup>2</sup>・伊東拓朗<sup>3</sup>・陶山佳久<sup>4</sup>・高橋大樹<sup>4</sup> (1:兵庫教育大, 2:京大・院・人環, 3:東北大・植物園, 4:東北大・農)
- P-26 ヤナギ科イイギリ連4属 (*Idesia*, *Itoa*, *Poliiothysis*, *Xylosma*) における雄蕊発生パターンの比較 根本智行<sup>\*1</sup>・東隆行<sup>2</sup>・邑田仁<sup>3</sup> (1:石巻専修大・理工・生物科学, 2:北大・フィールド科学セ・植物園, 3:東京大・院・理・植物園)
- P-27 三重県立上野高校に収蔵されているイネ科タケ亜科植物標本 支倉千賀子<sup>\*1</sup>・岡田峰尚<sup>2</sup>・山本和彦<sup>3</sup>・池田博<sup>4</sup> (1:東京農業大学農学部, 2:三重県立上野高等学校, 3:三重県, 4:東京大学総合研究博物館)
- P-28 愛知県植物誌 2024 に向けて 芹沢俊介<sup>\*</sup> (愛知みどりの会)
- P-29 種名の曖昧性を迅速・正確に解決する R パッケージ「taxastand」 新田ジョエル<sup>\*▼1</sup>・岩崎渉<sup>2</sup> (1:東大・院・理, 2:東大・院・新領域)
- P-30 ホソバナコバイモ (ユリ科バイモ属) の訪花昆虫相 五島美穂<sup>1</sup>・多田内修<sup>2</sup>・渡邊誠太<sup>1</sup>・高橋晃太郎<sup>1</sup>・野田博士<sup>1</sup>・田村実<sup>1</sup>・布施静香<sup>\*1</sup> (1:京大・院・理・植物, 2:九州大)
- P-31 ミカワマツムシソウにはハナアブが沢山やってくる 須山知香<sup>\*1</sup>・渡辺路<sup>2</sup>・立松和晃<sup>3</sup>・岡本朋子<sup>4</sup> (1:岐阜大・教育・理科教育, 2:岐阜大・教育・学校教育・理科教育, 3:岐阜大・院・自然科学, 4:岐阜大・応生)
- P-32 花で繁殖するタマバエはオオカモメヅルの送粉に寄与するのか? 望月昂<sup>\*1</sup>・Ayman Khamis Elsayed<sup>2</sup>・川北篤<sup>1</sup> (1:東京大学大学院理学系研究科附属植物園, 2:佐賀大学農学研究科)
- P-33 シャクチリソバの根茎、葉、花、種子におけるルチン含量とその変動 上原歩<sup>\*</sup>・水谷静 (玉川大・農)

◆ コアタイム 3月5日(土) 13:00 - 13:45 (一般)

- P-34 ヤクシマオヤコゴケ (コケ植物タイ類) の分類学的研究 片桐知之<sup>\*1,2</sup>・井上侑哉<sup>2,3</sup> (1:高知大学, 2:服部植物研究所, 3:国立科学博物館)
- P-35 担子菌ハラタケ綱における外生菌根菌の進化と多様化 佐藤博俊<sup>\*</sup> (京大・人環)
- P-36 汎世界的に分布するユノミネシダの2つの進化的種 篠原渉<sup>\*1</sup>・LEON R. PERRIE<sup>2</sup>・村上哲明<sup>3</sup> (1:香川大学教育学部, 2:Museum of New Zealand, 3:東京都立大学理学研究科)
- P-37 日本近海固有性アマモ類の地理的遺伝構造 田中法生<sup>\*1</sup>・斉藤憲治<sup>2</sup>・仲岡雅裕<sup>3</sup> (1:国立科博・植物, 2:水産機構・資源研, 3:北大・フィールド科学セ)
- P-38 MIG-seq 解析を利用したオキナグサの分子系統地理学的研究 西藤大朗<sup>\*1</sup>・陶山佳久<sup>2</sup>・松尾歩<sup>2</sup>

・藤井紀行<sup>3</sup>・池田啓<sup>4</sup>・岩崎貴也<sup>5</sup>・Andrey E. Kozhevnikov<sup>6</sup>・Zoya V. Kozhevnikova<sup>6</sup>・Jae-Hong Pak<sup>7</sup>・Kyung Choi<sup>8</sup>・Tian-Gang Gao<sup>9</sup>・副島顕子<sup>3</sup> (1:熊本大・院・自然科学, 2:東北大・院・農, 3:熊本大・院・先端科学, 4:岡山大・植物研, 5:お茶の水女子大・理, 6:Russian Academy of Sciences, 7:Gangneung-wonju National University, 8:北海道大学, 9:Chinese Academy of Sciences)

- P-39 **矮化オオバコの集団ゲノム解析** 石川直子\*<sup>▼1</sup>・阪口翔太<sup>2</sup>・高橋大樹<sup>3</sup>・廣田峻<sup>3</sup>・陶山佳久<sup>3</sup>・伊藤元己<sup>4</sup> (1:大阪市大・植物園, 2:京大院・人環, 3:東北大・院・農, 4:東大院・総合文化)
- P-40 **植物園の導入・分譲履歴調査から明らかになった日本の域外保全の質的課題** 田村紗彩\*<sup>▼1</sup>・遊川知久<sup>2</sup>・中村剛<sup>3</sup> (1:北大・院・環境科学, 2:国立科博・植物, 3:北大・植物園・環境科学)
- P-41 **長野県植物誌改訂に向けた活動紹介Ⅱ** 藤田淳一\*<sup>1</sup>・大塚孝一<sup>1</sup>・尾関雅章<sup>2</sup>・千葉悟志<sup>3</sup>・佐藤利幸<sup>1</sup> (1:長野植研, 2:県環境研, 3:大町山博)
- P-42 **野外播種試験で明らかになったクマガイソウ(ラン科)の発芽・繁殖特性** 山下由美\*<sup>1</sup>・藤井健太<sup>2</sup>・池山裕一郎<sup>2</sup>・藤森祥平<sup>3</sup>・辻田有紀<sup>4</sup>・黒沢高秀<sup>5</sup>・遊川知久<sup>2</sup> (1:福島大・共生システム理工, 2:国立科博・植物園, 3:牧野植物園, 4:佐賀大・農, 5:福島大・共生システム理工)
- P-43 **二型花柱性ポロポロノキの送粉様式と花香成分・遺伝的変異との関連** 菅原敬\*<sup>1</sup>・内貴章世<sup>2</sup>・渡邊謙太<sup>3</sup>・柿嶋聡<sup>1</sup>・藏屋英介<sup>3</sup>・荻原弘貴<sup>4</sup> (1:科博, 2:琉球大・熱帯生物圏, 3:沖縄高専, 4:都立大)
- P-44 **タンポポの分布はどう決まるか?** 龍見瑞季\*<sup>▼1</sup>・鈴木武<sup>2</sup>・小川誠<sup>3</sup>・木村進<sup>4</sup>・タンポポ調査西日本実行委員会・西野貴子<sup>1</sup> (1:大阪府大・院・理, 2:兵庫県立博, 3:徳島県博, 4:大阪自然環境保全協会)
- P-45 **ハママンネグサ(*Sedum formosanum*)のシュート構成に関する形態学的解析** 岩元明敏\*<sup>1</sup>・伊東拓朗<sup>2</sup>・田名網すずか<sup>1</sup>・伊藤惇也<sup>1</sup> (1:神奈川大・理・生物, 2:東北大・植物園)
- P-46 **琵琶湖岸における希少種の生息・生育地保護区で見られる植物の季節変化** 大槻達郎\*・西田謙二 (滋賀県立琵琶湖博物館)
- P-47 **ミズヒキの葉に現れる斑紋の地理的分布-自生環境から見た考察** 後藤良祐\*・倉田薫子 (横国大・院・教育)